

2026年度（令和8年度）  
大学院工学研究科  
（博士前期課程）

**私費外国人留学生選抜  
学生募集要項**

国立大学法人  
名古屋工業大学

# 目 次

## 2026年度（令和8年度）大学院工学研究科(博士前期課程) 私費外国人留学生選抜募集要項

### 教育理念

アドミッション・ポリシー	1
1 募集専攻・プログラム及び募集人員	2
2 出願資格	2
3 出願期間	3
4 出願手続	4
5 受験票のダウンロード及び印刷	8
6 障害等のある入学志願者との事前相談	8
7 受験時に来日する外国人の査証（ビザ）申請	8
8 入学者選抜方法	9
9 試験場	9
10 合格者発表及び入学手続	9
11 入学手続時に必要な経費	10
12 入試情報	10
13 プログラム及び指導を希望する教員	11
14 課程の修了の認定及び学位の授与	11
15 安全保障輸出管理について	11
16 問い合わせ先	12
専門試験の出題科目及び出題範囲について	13
ディプロマ・ポリシー	17
カリキュラム・ポリシー	19
本学への交通案内	裏表紙

## 教育理念

名古屋工業大学では、『ものづくり』『ひとづくり』『未来づくり』を理念として、将来にわたって人類の幸福や国際社会の福祉を達成する方向を示し、同時にそれに対応できる人材を育成する。」ことを教育理念としています。

本学の卒業生は一人ひとりが国際社会の中で様々な人々・分野と協働し、持続的未來社会への責任を自覚し、実践の中で革新的な学術と技術を創造する能力を有する実践的工学エリートとして活躍することが期待されます。

## アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

### 大学院博士前期課程

教育理念に従って人材を育成するため次を満たす学生を広く国内外から受け入れています。

大学院博士前期課程で学ぶ学生は学士の能力と工学の基礎知識・使命感をもち、本学の理念をよく理解し、工学の使命を果たす意欲をもつ人です。

- 1 学士課程を卒業又はこれと同等の能力をもつ人
- 2 他者と意見を交わすことのできるコミュニケーション力をもち、英語においては講義や教科書の理解、他者との意見交換をすることのできる能力をもつ人
- 3 志望するプログラムの履修に必要な工学の基礎知識とこれを活用して問題解決をする能力をもつ人
- 4 未来の工学を先導することに強い意欲をもつ人

### 入学者選抜の基本方針

#### 私費外国人留学生選抜

入学者選抜では、学力検査、面接及び提出書類を総合して選抜します。

学力検査（専門試験及び外国語試験）では、各プログラムの専門分野で必要とする工学の基礎知識と英語能力を測るとともに、面接では研究意欲、適性、人物を問います。

注：ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーについては、17ページ以降を参照してください。

## 2026年度（令和8年度）大学院工学研究科（博士前期課程）

### 私費外国人留学生選抜募集要項

#### 1 募集専攻・プログラム及び募集人員

募集専攻	系	プログラム	募集人員
工学専攻	生命・応用化学系	生命・物質化学プログラム	若干名
		ソフトマテリアルプログラム	
		環境セラミックスプログラム	
	物理工学系	材料機能プログラム	
		応用物理プログラム	
	電気・機械工学系	電気電子プログラム	
		機械工学プログラム	
	情報工学系	ネットワークプログラム	
		知能情報プログラム	
		メディア情報プログラム	
		情報数理プログラム	
	社会工学系	建築・デザインプログラム	
		環境都市プログラム	
		経営システムプログラム	
	複合系	未来通信プログラム	
カーボンニュートラルプログラム			
医学工学プログラム			

#### 2 出願資格

日本の国籍を有しない者（日本国永住許可を得ている者及び日本の大学を卒業又は卒業見込みの者を除く。）であり、「留学」の在留資格を有するもの又は大学院入学後に取得可能なもので、次のいずれかに該当するもの

なお、出願時に「留学」の在留資格を有せず取得見込みで出願した者は、入学手続後すみやかに「留学」の在留資格に切りかえてください。

- ① 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び2026年3月31日までに修了見込みの者
- ② 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び2026年3月31日までに修了見込みの者
- ③ 外国の大学その他の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了することを含む。）により学士の学位に相当する学位を授与された者及び2026年3月31日までに取得見込みの者
- ④ 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者

⑤ 文部科学大臣の指定した者

大学教育修了までの学校教育の課程が16年に満たない国において大学教育を修了した者で、大学教育修了後、日本国内又は国外の大学若しくは大学共同利用機関法人等これらに準ずる研究機関において、研究生、研究員等として相当期間（おおむね1年以上）研究に従事し、2026年3月31日までに22歳に達するものは、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めたと扱います。

⑥ 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

個別の入学資格審査を希望する者は、本学大学院において、個人の学習歴や実務経験・国際的活動経験等の具体的内容について審査しますので、次の書類を2025年5月12日(月)16:00までに入試課へ提出してください。

- (1) 入学資格審査申請書
- (2) 最終学校等の成績証明書
- (3) 最終学歴の卒業証明書又は修了証明書
- (4) 志望理由書
- (5) 出身学校の学校概要・カリキュラム等教育課程が明らかになる資料

注) 上記(1)の入学資格審査申請書については入試課へ問い合わせてください。

上記(2)志望理由書は、本学HP

(<https://www.nitech.ac.jp/examination/in/request.html>)

からダウンロードして作成してください。

審査の結果及びその後の手続方法については、2025年6月23日(月)までにお知らせします。

### 3 出願期間

(1)インターネット出願登録期間

2025年7月7日(月) 9:00~7月18日(金) 15:00

(2)出願書類受理期間

2025年7月15日(火)~7月18日(金) 【18日(金) 16時必着】

注1：インターネット出願情報の登録（システムへの入力）を行った後に速やかに出願書類を書留速達郵便により提出してください。詳細は「4 出願手続」で確認してください。（持参の場合は、9:00~16:00）

出願書類受理期間後に到着したものは受理しません。

注2：出願にあたっては、あらかじめ指導を希望する教員と研究内容や出願について相談してください。また、外国人については指導を希望する教員に、以下のURLからダウンロードした履歴書を2025年6月13日(金)までに提出してください。なお、次の「4 出願手続【インターネット出願の流れ】②出願情報の登録」において、指導教員は第3希望まで選択可能（同一の研究分野に限る）としていますが、前述の相談は第1希望の教員と行ってください。

URL：<https://www.nitech.ac.jp/examination/in/request.html>

## 4 出 願 手 続

入学志願者は、次の(1)~(4)を十分確認のうえ、手続を行ってください。

### (1)【インターネット出願の流れ】

①入試制度の確認	本学ホームページから「募集要項」をダウンロードし、志願するプログラムの出願資格・出願期間を確認します。
②出願情報の登録	インターネットに接続しているパソコン等から、画面の指示に従って登録内容を入力します。
③出願情報の確認	登録した出願情報を確認します。確認用の紙を印刷できます。
④支払い方法の選択	検定料の支払い方法を選択します。 ・クレジットカード                      ・コンビニエンスストア ・銀行ATM(ペイジー)                  ・ネットバンキング
⑤検定料の支払い	選択した支払い方法に従って検定料 30,000 円 (別途、払込手数料 990 円) の支払いが必要となります。 注：試験成績の開示を希望する場合は、別途 800 円の支払いが必要です。
⑥出願登録内容の印刷	出願確認票等を印刷します。
⑦出願書類の提出	⑥の出願登録内容の印刷物等を、6 ページの「(3)出願書類」に記載のとおり名古屋工業大学へ提出し、出願完了

注1：インターネット出願情報の登録だけでは、出願手続は完了しません。出願期間内に 6 ページの「(3)出願書類」に記載されている、出願確認票等を提出することで完了します。

注2：出願情報の登録中に次の操作を行った場合、又は、30 分間次のページに進まなかった場合には、始めからやり直す必要がありますので、注意してください。

- ・ 出願登録完了前にブラウザを閉じた場合
- ・ 前の画面に戻る際、ブラウザの「戻る」ボタンを使用した場合

注3：検定料の支払い方法、よくある質問など詳細については、下記【インターネット出願登録サイト】を確認してください。

注4：入学試験前1年以内に大規模災害に遭った者は、申請により検定料が免除される場合があります。対象は災害救助法適用地域において被災し、住宅家屋が全壊、大規模壊、半壊又は流失した者、若しくは家計支持者が死亡又は行方不明となった者です。

詳細については、本学ホームページ

(<https://www.nitech.ac.jp/examination/sokuhou/>)

を確認し、必要書類を提出してください。

#### 【インターネット出願登録の手順案内】

本学ホームページ>入試>大学院入試>募集要項・資料請求

#### 【インターネット出願登録サイト】

本学ホームページ>入試>インターネット出願>インターネット出願登録サイト

注5：インターネット出願情報の登録の際のパソコン推奨環境及びモバイル端末推奨環境は次のとおりです。

### ①パソコン推奨環境

ブラウザ

Windows 環境の場合	Macintosh 環境の場合
Google Chrome Microsoft Edge	Safari Google Chrome (MacOS 10.6 以降)

PDF 閲覧ソフト

Windows 環境の場合	Macintosh 環境の場合
Adobe Acrobat Reader DC	Adobe Acrobat Reader DC

### ②モバイル端末推奨環境

下記は推奨環境ですが、お使いの環境によっては一部機能が動作しないことがあります。その場合はパソコンを使用してください。

OS

Android 環境の場合	iOS 環境の場合
Android 10.X.X 以降 Android Chrome	iOS 14.X.X 以降 Safari

## (2)インターネット出願情報の登録及び検定料の支払いについて

① インターネット出願情報の登録及び検定料の支払手順は、別ファイル「インターネット出願登録の手順案内」のとおりです。

② 出願情報の登録を開始する前に準備しておくデータ等

ア 志望理由書等

出願情報の登録システムで作成する書類の他に「(3)出願書類」の「その他必要書類」に記載されている、志望理由書等を出願期間内に提出する必要がありますので、遅れないように準備してください。

イ 本人の顔写真データ

正面、上半身、無帽のもので出願前3か月以内に撮影した写真の画像データを準備しておいてください。システムに他の情報とともに登録します。

ウ 電子メールアドレス

電子メールアドレスが必要となります。スマートフォン・携帯電話の電子メールアドレスやフリーメールのアドレスも利用可能です。(この電子メールアドレス宛に、出願情報登録完了等の確認メールを配信します。)

エ プリンター、印刷用紙

A4 サイズの用紙が印刷できるプリンタ（モノクロ、カラーどちらでも可）が必要です。印刷用紙は普通紙で構いません。(出願情報の登録内容を印刷するために使用します。)

③ インターネットが利用できない場合

自宅や在籍する学校・大学等に、インターネット出願登録ができる環境が整っていない場合は、12 ページ「16 問い合わせ先」まで相談してください。

注1：インターネット出願登録後、6 ページ「(3)出願書類」の提出書類を提出することで、出願手続完了となります。3 ページ「3 出願期間」の出願期間内に提出書類の提出がない場合、出願未完了（登録データは無効）となり、受験ができませんので、注意してください。

注2：インターネット出願登録情報は、入学手続時にも使用するため必ず保管してください。

### (3) 出願書類

5 ページ(2)のインターネット出願情報の登録後、次の書類を取りそろえ、所定の期日までに本学入試課に提出してください。郵送出願する場合は、市販の封筒（角形2号、縦33cm×横24cm）を用い、封筒表面に下表の②宛名ラベルを貼り付け、**書留速達**で郵送してください。

なお、海外から出願する場合は、入試課へ問い合わせてください。

印刷物 出願登録内容の インターネット	① 出願確認票 (提出用)	インターネット出願登録後、印刷したもの。
	② 宛名ラベル	インターネット出願登録後、印刷したものを出願書類提出用封筒に貼り付けてください。持参出願する場合は、宛名ラベルを印刷して持参してください。(封筒に貼り付ける必要はありません。)
その他必要書類	③ 志望理由書	各項目について記述してください。志望理由書は、本学HP ( <a href="https://www.nitech.ac.jp/examination/in/request.html">https://www.nitech.ac.jp/examination/in/request.html</a> ) からダウンロードして作成してください。
	④ 成績証明書 (コピー不可)	出身大学が作成した成績証明書を提出してください。 日本語・英語以外で書かれたものは、日本語又は英語の訳文を添付してください。 注) 中国の教育機関出身者は下記の注意事項を参照してください。
	⑤ 卒業(見込) 証明書 (コピー不可)	出身大学が作成した卒業(見込)証明書を提出してください。 日本語・英語以外で書かれたものは、日本語又は英語の訳文を添付してください。 注) 中国の教育機関出身者は下記の注意事項を参照してください。
	⑥ TOEFL-iBT 又は TOEIC L&R スコア	7 ページ 4 (4)①を熟読してください。
	⑦ 上記⑥スコアシート返却 用封筒	郵送出願する者で、7 ページ 4 (4)①イ又はウによりスコアを提出するもののみ必要。 市販の封筒(長形3号、23.5cm×12cm)に、郵便番号、受信場所、氏名を記入し、郵便切手(410円)を貼付してください。 ただし、受信者が外国に居住する場合は、国際スピード郵便(EMS)で送付するため、航空便書状100g相当の国際返信切手券を同封してください。
	⑧ 類型該当性の自己 申告書	すべての志願者は、「外国為替及び外国貿易法」に基づく「みなし輸出」における管理対象であるかどうかの確認を行うため、類型該当性の自己申告書について、記載及び署名を行い提出する必要があります。様式は、本学HP( <a href="https://www.nitech.ac.jp/examination/in/request.html">https://www.nitech.ac.jp/examination/in/request.html</a> )からダウンロードして作成してください。
	⑨ 住民票の写し又は 在留カードの両面 コピー	在留資格及び在留期間が記載された住民票の写し又は在留カードの両面コピーを提出してください。在留資格を有しない者は、パスポートの写しを提出してください。
	⑩ 研究に従事した 証明書 (様式随意)	出願資格⑤により出願する者のみ提出してください。 大学教育終了後、日本国内又は国外の大学若しくは大学共同利用機関法人等これらに準ずる研究機関において、研究生、研究員等として、相当期間(おおむね1年以上)研究に従事した証明書。



<中国の教育機関出身者の証明書について>

④成績証明書及び⑤卒業証明書

「中国高等教育学生信息网 (CHSI)」(<https://www.chsi.com.cn/>) が発行する成績認証報告書 (英語版) 及び学歴認証報告書 (英語版) を募集要項に記された出願期間までに CHSI から名古屋工業大学入試課 (ni t.nyushi@adm.nitech.ac.jp) に直接送信されるように手続きしてください。この手続き以外の認証報告書は受理しません。

また、出願時に当該教育機関を卒業していない場合は、④成績証明書についてはその時点での成績証明書を、⑤卒業証明書については卒業見込であることが分かる大学発行の証明書を提出してください。

なお、出願期間内に到着しなかった場合は、受験できませんので、余裕をもって申請してください。

(4) 注意事項

① TOEFL-iBT 又は TOEIC L&R スコアの提出について

以下のア～ウのいずれかにより必要書類を提出してください。

ア TOEFL-iBT 公式スコア (Official Score Report 又は Institutional Score Report)

ETS (Educational Testing Service) に対し、公式スコアを出願締切日までに本学に到着するよう次のいずれかの方法で手続きをしてください。

- TOEFL 試験申込時又は試験前日の 22 時までに ETS に直接申請する方法 (無料)
- TOEFL 試験日以降に ETS に直接申請する方法 (有料)

なお、本学の指定校コードは「8549」です。

公式スコアは本学到着までに 2 か月程度の期間を要する場合がありますので、余裕をもって申請してください。出願期間内に未着の場合は書類不備となります。

公式スコアが、名古屋工業大学に届いているか確認したい場合は、以下のとおり E メール (nit.nyushi@adm.nitech.ac.jp) にて問い合わせをしてください。

件名「TOEFL スコアについて」

本文 ・氏名 (アルファベット)

- ・ TOEFL 受験日
- ・ TOEFL 受験番号
- ・ 生年月日

イ TOEFL-iBT 受験生用スコア (Examinee Score Report 又は Test Taker Score Report)

ETS が発行し、顔写真の載っている紙媒体のものの原本 (コピーは不可)。

ウ TOEIC Listening & Reading Test (TOEIC L&R) 公式認定証 (Official Score Certificate) の原本 (コピーは不可)。デジタル公式認定証も認めますので、印刷したものを提出してください。「TOEIC Speaking & Writing Tests」のスコアは認められませんので、注意してください。

注:スコアの有効期限は、当該試験出願期間前2年以内とします。なお、TOEFL-ITP, TOEIC-IP 等の団体特別受験制度によるスコアは利用できません。

また、TOEFL-iBT のスコアについて、本学では MyBest scores は活用しません。

- ② 出願書類に不備がある場合は、受理しません。
- ③ インターネット出願登録後、出願事項の変更は認めません。ただし、住所・電話番号等の変更が生じた場合は 12 ページ「16 問い合わせ先」まで連絡してください。
- ④ 提出された出願書類は、返還しません。

- ⑤ 既納の検定料及び成績開示手数料は次のいずれかに該当する場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。
- ア 支払ったが、出願書類を郵送しなかった場合  
注：インターネット出願登録だけでは、出願手続は完了しません。出願期間内に書類を郵送することで完了します。
  - イ 支払ったが、出願書類の不備により出願が受理されなかった場合
  - ウ 誤って二重に支払った場合
- ⑥ 出願書類に虚偽の記載をしたことが判明した場合は、入学後でも入学を取り消すことがあります。
- ⑦ 本学入学者選抜に用いた個人情報については、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」に基づいて、次のとおり取り扱います。
- ア 入学者選抜に用いた個人情報については、今後の入学者選抜に係る調査・研究のために利用します。なお同調査・研究のため守秘義務を課した業者にその業務の一部を委託することがあります。この場合、当該業者に対して委託した業務の範囲内で必要となる個人情報を提供します。
  - イ 合格者の氏名・住所等の個人情報は、教科書販売、賃貸住宅に関する事前案内送付等のために利用します。なお、この業務については守秘義務を課した業者に委託することがあります。この場合、当該業者に対して業務実施の上で必要となる範囲内で個人情報を提供します。
  - ウ 入学者の個人情報は学籍等の教務関係、修学指導関係及び学生支援関係の業務に利用します。なお、同業務遂行にあたり守秘義務を課した業者にその一部を委託することがあります。この場合、当該業者に対して委託した業務の範囲内で必要となる個人情報を提供します。

## 5 受験票のダウンロード及び印刷

受験票は、2025年7月28日(月)からダウンロード及び印刷が可能となります。

インターネット出願登録サイトから受験票をダウンロード及び印刷し、試験当日持参してください。

## 6 障害等のある入学志願者との事前相談

本学に入学を志願する者で、学校教育法施行令第22条の3に定める障害のあるもの又はその他の障害等があるもののうち、受験上及び修学上の配慮を必要とするものは、出願の前に、下記により相談してください。

### (1) 相談の時期及び方法

2025年6月13日(金)までに相談する内容を文書又は電話等で連絡してください。必要な場合は、本学において志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面談等を行います。

### (2) 連絡先

12ページの「16 問い合わせ先」にお願いします。

## 7 受験時に来日する外国人の査証（ビザ）申請

受験時に来日する際、国によっては査証（ビザ）が必要になりますので、詳しくは、自国の日本大使館・領事館に確認してください。

本学を受験するために「短期滞在ビザ」を申請する場合、自己の責任で必要な条件を揃えて手続きを行ってください（本学が「招へい人」、「身元保証人」になることはできません）。

## 8 入学者選抜方法

### (1) 選抜方法

学力検査及び面接を実施し、本学が指定するすべての学力検査及び面接を受験しなければなりません。なお、希望教員は、面接等で再度確認しますが、第1希望とならないことがあります。

### (2) 配点

#### ① 学力検査（筆記試験）

##### ア 専門試験（配点：筆記試験 300 点満点）

2025 年 8 月 21 日(木) 10：00～12：00

専門試験は入学後に指導を希望する教員において、担当教員一覧で指定するプログラムに応じて出題します（13 ページ以降参照）。なお、複合系プログラムの教員を希望する場合は、担当教員一覧の受験科目欄に記載されたプログラムの指定する科目を課します。

問題は日本語及び英語で出題してあります。なお、解答は日本語又は英語どちらでも可能です。

##### イ 外国語試験（配点：英語 100 点満点）

外国語試験は、TOEFL-iBT 又は TOEIC L&R のスコアをもって外国語試験の点数とします。TOEFL-iBT 又は TOEIC L&R のスコアの英語得点への換算は次の表の範囲で行います。

なお、スコアシート（成績証明書）の有効期限は、当該試験出願期間前 2 年以内とします。

また、TOEFL-iBT 又は TOEIC L&R の双方のスコアを提出した場合は、換算後の得点で高得点のスコアを採用します。

TOEIC L&R	TOEFL-iBT	筆記試験の得点
990	120	100点
10	0	0点

#### ② 面接

2025 年 8 月 22 日(金) 12：45～

研究意欲、適性、人物等について、個人面接を行います。

面接は、5段階で評価します。

### (3) 合否判定基準

学力検査、面接及び成績証明書を総合して判定を行い、A・B・Cの3段階で評価し、合格基準を満たした者をAとします。

## 9 試験場

名古屋工業大学

詳細については、当日、2号館前に掲示します。

## 10 合格者発表及び入学手続

- (1) 2025 年 9 月 12 日(金)10：00 に、本学ホームページ (<https://www.nitech.ac.jp/>) 上に合格者の受験番号を掲載するとともに、合格者に合格通知書を送付します。

なお、電話による問い合わせには一切応じません。

また、受験票は入学手続時に必要なため、それまで必ず保管してください。

(2) 合格者（又は代理人）は、次の日時に入学手続きを行ってください。入学手続き日時までに入学手続きを行わない場合は、入学を辞退したものと取り扱います。

なお、2025年11月下旬に入学手続きの詳細を記載した「入学手続き要領」を送付します。入学手続きに必要な書類等は「入学手続き要領」に同封します。

入学手続き日時	入学手続き会場
2025年12月12日(金) 10:00~16:00	名古屋工業大学

## 11 入学手続き時に必要な経費

入 学 料	282,000 円 (予定額)	
授 業 料 (入学後に納入)	年額 535,800 円 (予定額)	前期分 267,900 円 後期分 267,900 円

注1：入学料及び授業料については、入学時及び在学中に改定が行われた場合には、新入学料及び新授業料が適用されます。

注2：授業料は、希望により前期分を納入の際に後期分も併せて納入できる制度があります。

注3：授業料は、2026年4月1日(水)から5月29日(金)までに納入してください。

注4：既納の入学料は、返還しません

注5：入学料及び授業料については、徴収猶予又は免除する制度があります。

## 12 入 試 情 報

大学院博士前期課程に係る入試情報は、次の内容を開示します。

### (1) 出願状況等

志願者数、受験者数、合格者数、入学者数を本学ホームページで提供します。

### (2) 試験問題等

#### ① 試験問題

試験問題は過去3年間分をホームページで公表しています。

ただし、著作権法により開示しない場合があります。

#### ② 正解・解答例（ただし、正解・解答例を示すことが困難な問題については、出題意図や評価ポイント）

#### ③ 開示方法

2025年9月上旬にホームページで公表します。

### (3) 試験成績

#### ① 受験者本人の申請に基づき、次の事項を開示します。

総合評定（A, B, C）

ただし、1科目以上欠席し、選抜の対象外になった場合は開示されません。

#### ② 申請方法等

##### ア 申請方法

試験成績の開示を希望する志願者は、インターネット出願登録の際に「試験成績開示の希望の有無」欄で「希望する」を必ず選択してください。出願後のメール、電話等による個別の開示請求は受け付けません。

「希望する」を選択した場合、1回の出願につき開示請求手数料800円が別途必要です。検定料と併せて支払ってください。

#### イ 開示の時期

2025年10月1日(水)から11月28日(金)まで閲覧可能です。

注1 閲覧するには、「氏名」・「受験番号」・Web出願登録時の「整理番号」が必要です。開示時期は出願からかなり期間が空くので、受験番号及び整理番号の管理には注意してください。

注2 万が一、整理番号がわからなくなった場合には、登録したメールアドレスあてに通知を受けることができます。必ず開示時期まで変更しないメールアドレスを登録してください。

注3 「受験番号がわからない」、「整理番号がわからず、登録したメールアドレスも使用できない」などの問い合わせには応じません。

#### ウ 閲覧方法

本学Webサイトの入試案内のページから個人成績開示システムへ進んでください。

「氏名」・「受験番号」・Web出願登録時の「整理番号」を入力すると閲覧できます。

### 13 プログラム及び指導を希望する教員

志望プログラム、指導教員及び研究分野を決めるに当たっては、別ファイル「大学院工学研究科(博士前期課程)担当教員一覧」を参照してください。

プログラムの指定がない教員を指導教員に希望する場合、希望指導教員への相談とともに入試課まで相談すること。

### 14 課程の修了の認定及び学位の授与

本学大学院に2年以上在学し、各プログラム所定の授業科目を30単位以上修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、大学院の行う修士論文の審査及び最終試験に合格した者に、修士(工学、学術)の学位を授与します。

### 15 安全保障輸出管理について

名古屋工業大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき、「名古屋工業大学安全保障輸出管理規程」を定め、外国人留学生の受入れに際し厳格な審査を実施しています。

また、2021年11月「外国為替及び外国貿易法」(外為法)に基づく「みなし輸出」における管理対象の明確化に伴い、本学への出願者全員を対象に、「類型該当判断のフローチャート」に基づく「類型該当性の自己申告書」の提出が必要となりました。さらに、入学手続き時に「誓約書」の提出が必要となる場合があります。

規制事項に該当する場合は、希望する教育が受けられない場合や研究ができない場合がありますので、注意してください。

【参考】「名古屋工業大学安全保障輸出管理規程」

名古屋工業大学規則集 <https://ki.soku.web.nitech.ac.jp/index.php> より

第4編 研究系>国立大学法人名古屋工業大学安全保障輸出管理規程

経済産業省「安全保障貿易管理」

<https://www.meti.go.jp/policy/anpo/gaiyou.html>

## 16 問い合わせ先

この学生募集要項に関する照会は、Eメール又は電話等で行ってください。

〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町<sup>ごきそちょう</sup>  
名古屋工業大学 入試課  
電 話 052 (735) 5083  
F A X 052 (735) 5084  
Eメール ni t.nyushi@adm.nitech.ac.jp

## 専門試験の出題科目及び出題範囲について

専門試験は、入学後に指導を希望する教員において、担当教員一覧で指定するプログラムに応じて、下記のとおり出題します。

なお、複合系プログラムの教員を希望する場合は、担当教員一覧の受験科目欄に記載されたプログラムの指定する科目を課します。

また、教員の研究分野は本学 HP で確認してください。

(トップページ「入試案内」→大学院入試→募集要項・資料請求の「参照用 2026 年度 (令和 8 年度) 大学院工学研究科 (博士前期課程) 担当教員一覧)

URL: <https://www.nitech.ac.jp/examination/in/request.html>

■生命・物質化学，ソフトマテリアル，環境セラミックスプログラム：問題番号 1 から 4 の中から 2 題を選択する。

問題番号	出題科目	出題範囲
1	微分積分・線形代数 Calculus and linear algebra	微分積分・線形代数 (計算問題を中心とする), ただし微分方程式を除く Calculus and linear algebra (focused on calculation problems), but excluding differential equations
2	有機化学 Organic chemistry	有機化合物の構造, 性質, 反応, 合成 Structure, properties, reactions, and syntheses of organic compounds
3	高分子合成 Polymer synthesis	連鎖重合, 逐次重合, 高分子反応, キャラクタリゼーションなど Chain-growth polymerization, step-growth polymerization, polymer reaction, characterization of polymers
4	無機構造解析・評価 Inorganic structure analysis and characterization	無機構造化学, 量子化学, 結晶学, 構造解析, 材料解析など Inorganic structural chemistry, quantum chemistry, crystallography, structure analysis of inorganic materials, analytical chemistry of inorganic materials

■材料機能プログラム：全 2 題を必須とする。

問題番号	出題科目	出題範囲
5	金属材料学 Metallic materials science	材料物理学, 材料組織学, 回折結晶学, 力学物性論, 材料強度学など Material physics, Microstructure of materials, Crystallography and diffraction, Mechanical properties of materials (Materials physics and mechanics), Strength and plasticity of materials, etc.
6	量子物性・材料化学 Quantum physical properties・Materials chemistry	固体物理, 量子力学, 磁性材料, 熱力学, 反応速度論など Solid state physics, Quantum mechanics, Magnetic materials, Thermodynamics, Kinetics of material reaction, etc.

■応用物理プログラム：全2題を必須とする。

問題番号	出題科目	出題範囲
7	基礎物理数学 Fundamental physical mathematics	行列と行列式, フーリエ解析, 微分方程式, ベクトル解析 Matrices and determinants, Fourier analysis, differential equations, vector analysis
8	電磁気学 Electromagnetics	電場, 磁場, 電気回路, 電磁波 Electric field, magnetic field, electric circuit, electromagnetic wave

■電気電子プログラム：全2題を必須とする。

問題番号	出題科目	出題範囲
9	電気回路 Electric circuit	直流回路, 交流回路 (三相交流は含まない), 過渡現象 Direct current circuit, alternating current circuit (excluding three-phase alternating current), transient phenomenon
10	電磁気学 Electromagnetics	静電界, 定常電流, 静磁界, 電磁誘導 (電磁波は含まない) Static electric field, stationary current, static magnetic field, electromagnetic induction (excluding electromagnetic waves)

■機械工学プログラム：全2題を必須とする。

問題番号	出題科目	出題範囲
11	力学・材料力学 Mechanics, strength of materials	<ul style="list-style-type: none"> <li>・質点と剛体の力学 (力学, 機械力学, 工業力学)</li> <li>・材料変形の力学 (材料力学, 材料加工の力学)</li> <li>・機械材料の基礎 (材料科学)</li> <li>・Mechanics of mass points and rigid bodies (Mechanics, Dynamics of Machinery, Engineering Mechanics)</li> <li>・Mechanics of material deformation (Strength of Materials, Mechanics of Machining Processes)</li> <li>・Fundamentals of mechanical materials (Introduction to Materials Science)</li> </ul>
12	熱力学・流体力学 Thermodynamics and fluid mechanics	<ul style="list-style-type: none"> <li>・熱力学 (第1法則, 第2法則, 理想気体, 一般関係式, ガスサイクル, 蒸気サイクル, 熱の有効利用)</li> <li>・流体力学 (静水力学, 1次元流れ (含ベルヌーイ定理), 運動量理論, 次元解析, 管路の流れ, 流体力学基礎式)</li> <li>・Thermodynamics (First law, second law, ideal gas, general thermodynamic relations, gas cycles, steam cycles, effective utilization of thermal energy)</li> <li>・Fluid mechanics (Hydrostatics, one-dimensional flow (including Bernoulli's theorem), momentum theory, dimensional analysis, pipe flow, basic equations of fluid mechanics)</li> </ul>



■ネットワーク、知能情報、メディア情報、情報数理プログラム：問題番号1及び13から17の中から2題を選択する。

問題番号	出題科目	出題範囲
1	微分積分・線形代数 Calculus and linear algebra	微分積分・線形代数（計算問題を中心とする）、ただし微分方程式を除く Calculus and linear algebra (focused on calculation problems), but excluding differential equations
13	計算機ソフトウェア Computer software	データ構造とアルゴリズム、形式言語とオートマトン Data structures and algorithms, formal language and automata
14	計算機ハードウェア Computer hardware	コンピュータ基礎、デジタル回路、コンピュータ・アーキテクチャ Computer fundamentals, digital circuits, computer architecture
15	情報数学 Mathematics for computer science	情報理論、離散数学 Information theory, discrete mathematics
16	数理科学1 Mathematics 1	複素解析、ベクトル解析、微分方程式（フーリエ解析を含む） Complex analysis, vector analysis, differential equations (including Fourier analysis)
17	数理科学2 Mathematics 2	微分積分・線形代数の理論的側面を含む数学の範囲で数学的な思考力を問う問題 We test the applicant's mathematical thinking skills through a range of mathematics including theoretical aspects of calculus and linear algebra

■建築・デザインプログラム：全2題を必須とする。

問題番号	出題科目	出題範囲
1	微分積分・線形代数 Calculus and linear algebra	微分積分・線形代数（計算問題を中心とする）、ただし微分方程式を除く Calculus and linear algebra (focused on calculation problems), but excluding differential equations
18	建築・デザイン学 Basics of architecture and design (required subject)	建築計画、都市計画、建築歴史・意匠、デザイン理論、建築環境・設備、建築材料・施工、建築構造 Architectural planning, urban design, architectural history and design, design theory, architectural environment and building equipment, building material and construction method, building structure

■環境都市プログラム：全2題を必須とする。

問題番号	出題科目	出題範囲
1	微分積分・線形代数 Calculus and linear algebra	微分積分・線形代数（計算問題を中心とする）、ただし微分方程式を除く Calculus and linear algebra (focused on calculation problems), but excluding differential equations
19	土木工学基礎 Basics of civil engineering	構造力学、水理学、地盤力学、土木計画学、コンクリート工学 Structural engineering, hydraulics, geomechanics, urban planning and transportation, concrete technology

■経営システムプログラム：問題番号1, 20, 21の中から2題を選択する。

問題番号	出題科目	出題範囲
1	微分積分・線形代数 Calculus and linear algebra	微分積分・線形代数（計算問題を中心とする）、ただし微分方程式を除く Calculus and linear algebra (focused on calculation problems), but excluding differential equations
20	マネジメント1 Management engineering 1	オペレーションズ・リサーチ、品質マネジメント、生産マネジメント Operations research, quality management, production management
21	マネジメント2 Management engineering 2	リスクマネジメント、システムズアプローチ、経営管理、組織行動 Risk management, systems approach, business administration, organizational behavior

## ディプロマ・ポリシー（修了認定・学位授与の方針）

### 大学院博士前期課程

大学院博士前期課程は、教育理念に従って次の高度な専門知識及び能力を有する、新たな技術創出のための技術者を輩出します。

名古屋工業大学大学院規則で定める修了要件を満たした学生に修士の学位を授与します。

- 1 人間、文化、社会の課題を技術的観点から理解・考察する能力
- 2 広い範囲の工学的知識と数理解
- 3 様々な研究者・技術者と意見を交わすことのできるコミュニケーション力
- 4 課題に対して適切なアプローチを計画し、解決する問題解決力
- 5 工学の高度な知識・技術とこれを現実課題に適用し解決する能力

### 到達目標

ディプロマ・ポリシーに対応する到達目標は次のとおりです。

○生命・物質化学プログラム、ソフトマテリアルプログラム、環境セラミックスプログラム、材料機能プログラム、応用物理プログラム、電気電子プログラム、機械工学プログラム、ネットワークプログラム、知能情報プログラム、メディア情報プログラム、情報数理プログラム、建築・デザインプログラム、環境都市プログラム、経営システムプログラム

- 1：人間、文化、社会と技術の関わりについて知識を有し、技術課題やその解決法について、倫理的・法的、社会的な影響について自覚し、これらの視点から解決法を検討できる。
- 2：データ解析等の数理的知識・理解と複数の工学分野の高度な知識を有する。
- 3：工学課題を解決するためのチームや関係者と意思疎通できるコミュニケーション力を有し、自身の役割を定めて他の人々と協働することができる。
- 4：工学課題を分析・詳細化し、文献調査や必要な学習を行い、実社会への活用を考慮してアプローチや実験等の計画を立て課題解決をすることができる。
- 5：プログラムごとに固有の到達目標とする。

#### 【生命・物質化学プログラム】

分析化学、物理化学、無機化学、化学工学、有機化学、高分子化学、生化学の知識と意見を持ち、環境、資源、エネルギー、医療等の諸課題の解決に貢献することができる。

#### 【ソフトマテリアルプログラム】

ソフトマテリアルについての合成、物理化学、構造や材料物性、機能発現の知識と意見を持ち、産業や暮らし、医療、エネルギー、環境等に係る材料の諸課題の解決に貢献することができる。

#### 【環境セラミックスプログラム】

セラミックスについて構造や機能、材料設計の知識と意見を持ち、情報通信、エネルギー、医療等に関わる循環型社会実現のためのセラミックス材料開発の諸課題の解決に貢献することができる。

#### 【材料機能プログラム】

金属材料の物理的・化学的性質について知識と意見を持ち、高機能材料の設計・開発と分析評価技術の研究を先導し、環境や産業の諸課題の解決に貢献することができる。

**【応用物理プログラム】**

ナノからマクロまでの物理の原理について知識と意見を持ち、ナノ計測・分析・加工や素子作製技術、シミュレーション解析に関する研究開発を先導し、エネルギーや環境の諸課題の解決に貢献することができる。

**【電気電子プログラム】**

電気・電子工学，制御工学，通信理論について知識と意見を持ち，これらの観点からエネルギーシステム，電機・エレクトロニクス産業，福祉・医療，モビリティ等の諸課題の解決に貢献することができる。

**【機械工学プログラム】**

材料工学，熱・流体工学，機械加工学，制御工学，生体工学，数理工学について知識と意見を持ち，これらの観点から生産・システム設計，福祉・医療，自動車・航空宇宙産業等の諸課題の解決に貢献することができる。

**【ネットワークプログラム】**

計算機技術，ソフトウェア，通信についての知識と意見を持ち，これらを深化させることで，未来の情報工学を先導し，情報システム，インターネットサービス等の諸課題に貢献することができる。

**【知能情報プログラム】**

人工知能理論，知的情報処理についての知識と意見を持ち，これらを深化させることで，知的情報技術を先導し，知能システムや知能ロボット，知能科学の諸課題に貢献することができる。

**【メディア情報プログラム】**

ひとの感覚やメディアの数理的原理についての知識と意見を持ち，これらを深化させることで，未来のメディア情報処理を先導し，ひとを含む高度なシステムやサービスの諸課題に貢献することができる。

**【情報数理プログラム】**

代数学・幾何学・解析学等についての知識と意見を持ち，これらを深化させることで，高度な情報・数理工学を先導し，数理科学の諸課題に貢献することができる。

**【建築・デザインプログラム】**

人を取り巻く環境，建築や人々の活動などについて意匠，計画，構造，材料などの知識と意見を持ち，これらに関わるものの設計・デザイン，解析，保存に貢献することができる。

**【環境都市プログラム】**

社会基盤に関わる現象の解釈，シミュレーション，設計と計画等についての知識と意見を持ち，都市や環境が抱える諸課題に対して自ら合理的な解決策の創造に貢献することができる。

**【経営システムプログラム】**

数理解析やデータサイエンスの工学知識に加え，心理学，社会学，経営学，人間工学の知識と意見を持ち，幅広い産業分野での問題解決やマネジメントに貢献することができる。

**○未来通信プログラム**

- 1：人間，文化，社会と技術の関わりについて知識を有し，技術課題やその解決法について，倫理的・法的，社会的な影響について自覚し，これらの視点から解決法を検討できる。
- 2：データ解析等の数理的知識・理解と複数の工学分野の高度な知識を有する。
- 3：工学課題を解決するためのチームや関係者と意思疎通できるコミュニケーション力を有し，自身の役割を定めて他の人々と協働することができる。

- 4：工学課題を分析・詳細化し、文献調査や必要な学習を行い、実社会への活用を考慮してアプローチや実験等の計画を立て課題解決をすることができる。
- 5：有線・無線・光通信工学、情報工学、計測・制御等の工学技術に加え、未来通信の柱となる情報通信システムの完全性や国際標準化や社会実装等についての知識と意見を持ち、未来社会を支える高信頼通信に関わる諸課題に貢献することができる。

#### ○カーボンニュートラルプログラム

- 1：人間、文化、社会と技術の関わりについて知識を有し、技術課題やその解決法について、倫理的・法的、社会的な影響について自覚し、これらの視点から解決法を検討できる。
- 2：データ解析等の数理的知識・理解と複数の工学分野の高度な知識を有する。
- 3：工学課題を解決するためのチームや関係者と意思疎通できるコミュニケーション力を有し、自身の役割を定めて他の人々と協働することができる。
- 4：工学課題を分析・詳細化し、文献調査や必要な学習を行い、実社会への活用を考慮してアプローチや実験等の計画を立て課題解決をすることができる。
- 5：電気・機械工学、固体物理、物質化学等の工学の学術・技術に加え、エネルギー・環境科学、社会基盤開発等についての知識と意見を持ち、カーボンニュートラル実現に向けた諸課題の解決に貢献することができる。

#### ○医学工学プログラム

- 1：人間、文化、社会と技術の関わりについて知識を有し、技術課題やその解決法について、倫理的・法的、社会的な影響について自覚し、これらの視点から解決法を検討できる。
- 2：データ解析等の数理的知識・理解と複数の工学分野の高度な知識を有する。
- 3：工学課題を解決するためのチームや関係者と意思疎通できるコミュニケーション力を有し、自身の役割を定めて他の人々と協働することができる。
- 4：工学課題を分析・詳細化し、文献調査や必要な学習を行い、実社会への活用を考慮してアプローチや実験等の計画を立て課題解決をすることができる。
- 5：機械工学、電気・電子工学、情報工学、社会工学等の工学技術に加え、それらの医学応用等への課題を理解し、医療・福祉技術、リハビリテーション、ヘルスケアの研究開発における諸課題に貢献することができる。

## カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

### 大学院博士前期課程

教育理念に従って人材を育成するため、以下の観点から、教育課程を編成しています。

大学院博士前期課程は、学士の能力と工学の基礎知識・使命感の上に、高度な専門知識を身につけると同時に研究に取り組み、未来社会をつくり出す人材を育成します。

- 1 倫理的・社会的観点を含めて人間、文化、社会の諸課題について学び、技術的観点から理解・考察する能力を身につける。
- 2 数理解理解を基礎として、数理情報と工学の広い範囲の知識を学ぶ。
- 3 様々な人々との協働や実践的課題への取り組みを通してコミュニケーション力を修得する。
- 4 技術を社会で活用するための諸課題を理解し、また、研究実践を通じて課題解決へのアプローチについて学修する。
- 5 プログラムの到達目標に応じて工学の高度な知識・技術を修得し、技術課題を発見、解決する能力を身につける。

## 学修内容

カリキュラム・ポリシーに対応する学修内容は次のとおりです。

○生命・物質化学プログラム，ソフトマテリアルプログラム，環境セラミックスプログラム，材料機能プログラム，応用物理プログラム，電気電子プログラム，機械工学プログラム，ネットワークプログラム，知能情報プログラム，メディア情報プログラム，情報数理プログラム，建築・デザインプログラム，環境都市プログラム，経営システムプログラム

- 1：人間・文化、倫理観を身につける科目を学修する。
- 2：工学専攻の全科目から数理情報の科目を含めて計画的に学修する。
- 3：研究課題遂行・成果発表を通じて議論等を行い、また、国内外の研究者の研究実践から学修する。
- 4：産業や経営に関する知識を学び、研究実践を通じて社会の中での研究の位置づけや影響について学修する。
- 5：プログラムごとに以下を学習する。

### 【生命・物質化学プログラム】

生命・物質化学分野の知識・技術を習得し、物質のデザイン・合成、機能解析とその応用の諸課題の解決法を計画・実践する。

### 【ソフトマテリアルプログラム】

ソフトマテリアル分野の知識・技術を習得し、暮らしや生命科学に関わる材料創成の諸課題の解決法を計画・実践する。

### 【環境セラミックスプログラム】

環境セラミックス分野の知識・技術を習得し、情報通信やエネルギー、医療等に係るセラミックス材料の諸課題の解決法を計画・実践する。【材料機能プログラム】

材料機能分野の知識・技術を習得し、金属材料の設計、合成、機能性付与に応用するための諸課題の解決法を計画・実践する。

### 【応用物理プログラム】

応用物理分野の知識・技術を習得し、ナノからマクロまでの物理現象の計測・分析、材料の高性能化やナノ加工、材料やシステムの予測に関する諸課題の解決法を計画・実践する。

### 【電気電子プログラム】

電気電子分野の知識・技術を習得し、機器の設計・制御・通信やデバイス設計、エネルギー変換の諸課題の解決法を計画・実践する。

### 【機械工学プログラム】

機械工学分野の知識・技術を習得し、機器開発・設計・製造、エネルギーの輸送・変換・貯蔵・利用の諸課題の解決法を計画・実践する。

### 【ネットワークプログラム】

ネットワーク分野の知識・技術を習得し、高度情報化社会を支える通信と計算機技術開発の諸課題の解決法を計画・実践する。

### 【知能情報プログラム】

知能情報分野の知識・技術を習得し、ひとのように思考・行動する知能処理システム構築の諸課題の解決法を計画・実践する。

### 【メディア情報プログラム】

メディア情報分野の知識・技術を習得し、ひとの知覚や認知、感性や感覚に基づくメディア情報システム実現の諸課題の解決法を計画・実践する。

### 【情報数理プログラム】

情報数理分野の知識・技術を習得し、情報・構造・数理解析等、工学における様々な数理

的諸課題の解決法を計画・実践する。

**【建築・デザインプログラム】**

建築・デザイン分野の知識・技術を習得し、人間をとりまく都市、建築、空間、環境などの計画、設計・デザイン、製作の諸課題の解決法を計画・実践する。

**【環境都市プログラム】**

環境都市分野の知識・技術を習得し、強靱な国土、安心安全で持続可能な都市社会、魅力あるまちづくりの諸課題の解決法を計画・実践する。

**【経営システムプログラム】**

経営システム分野の知識・技術を習得し、幅広い分野で問題解決能力と社会の多様なシステムにおけるマネジメントの諸課題の解決法を計画・実践する。

○未来通信プログラム

- 1：人間・文化,倫理観を身につける科目を学修する。
- 2：工学専攻の全科目から数理情報の科目を含めて計画的に学修する。
- 3：研究課題遂行・成果発表を通じて議論等を行い,また,国内外の研究者の研究実践から学修する。
- 4：産業や経営に関する知識を学び,通信の高度・高信頼化がもたらす自動運転,モビリティ,ロボット,スマート工場,遠隔医療等の未来産業や社会について明確な理念をもつ。
- 5：通信・情報工学に係るデバイス・システム・アプリケーション等の工学知識・技術を習得し,高度な通信技術を活用した未来産業や社会に関わる諸課題の解決法を計画・実践する。

○カーボンニュートラルプログラム

- 1：人間・文化,倫理観を身につける科目を学修する。
- 2：工学専攻の全科目から数理情報の科目を含めて計画的に学修する。
- 3：研究課題遂行・成果発表を通じて議論等を行い,また,国内外の研究者の研究実践から学修する。
- 4：産業や経営に関する知識を学び,未来の産業や社会におけるカーボンニュートラル技術の役割や位置づけについて明確な理念をもつ。
- 5：幅広い工学の知識・技術を習得し,健全な地球環境とともに持続的に発展する社会に関わる諸課題の解決法を計画・実践する。

○医学工学プログラム

- 1：人間・文化,倫理観を身につける科目を学修する。
- 2：工学専攻の全科目から数理情報の科目を含めて計画的に学修する。
- 3：研究課題遂行・成果発表を通じて議論等を行い,また,国内外の研究者の研究実践から学修する。
- 4：産業や経営に関する知識を学び,未来社会における医学と工学の役割や位置づけについて明確な理念をもつ。
- 5：幅広い工学と医学への応用に関わる知識・技術を習得し,高度な医療技術を支える工学技術に関わる諸課題の解決法を計画・実践する。

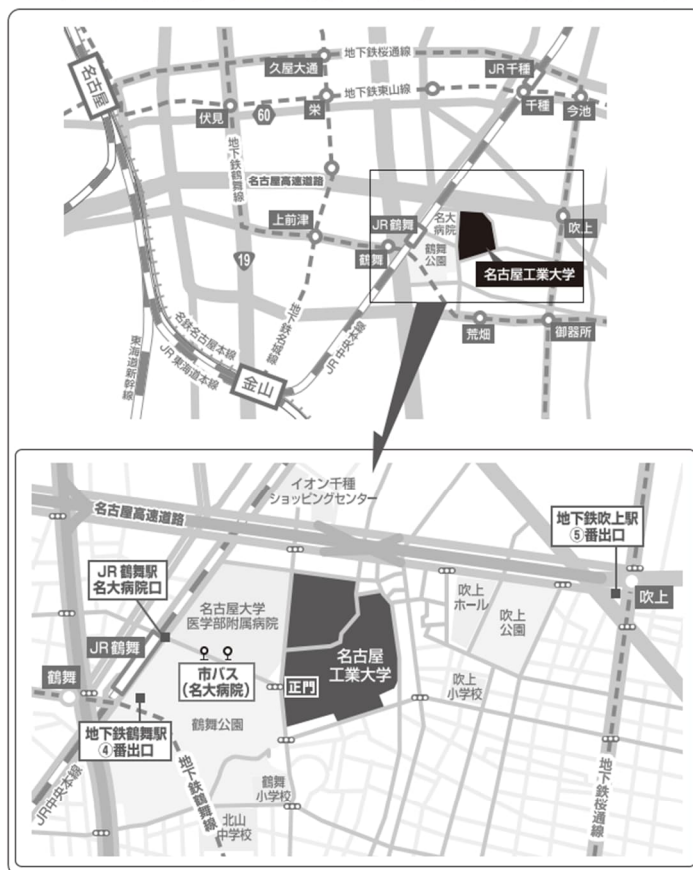
なお、学修成果の評価は、各授業科目における達成目標の達成度に基づき、公正・厳格な成績評価を行い、ディプロマ・ポリシーに示す知識と能力の達成度を評価します。修士論文又は特定の課題の研究成果に対しては、審査基準及び審査方法を明示し、それに基づき研究成果の審査及び試験を行います。

## 本学への交通案内

J R 東海	中央本線	鶴舞駅下車(名大病院口から東へ約400m)
地下鉄	鶴舞線	鶴舞駅下車(4番出口から東へ約500m)
	桜通線	吹上駅下車(5番出口から西へ約900m)
市バス	①8 (栄 ←→ 妙見町)	名大病院下車(東へ約200m)

注1：①8は、市バスの系統番号

2：バスの運行時間は、交通渋滞により大幅に遅れる可能性があるので注意してください。



### 名古屋工業大学入試課

ごきそちよう  
 名古屋市昭和区御器所町(〒466-8555)  
 電話 052(735)5083  
 ホームページアドレス <https://www.nitech.ac.jp/>